

第6回 聖籠町屋内遊び場整備に関する調査検討委員会 議事要旨

日 時	令和6年6月28日（金）19：00～20：45
場 所	聖籠町役場3階 大会議室
出席委員	宍戸委員、佐藤委員、小林（蘭）委員、高松委員、吉川委員、渡辺委員、田中委員、星野委員、吉村委員、中山委員、遠藤委員、小林（笑）委員
欠席委員	青木委員、森田委員、赤塚委員
事務局	高橋総合政策課長、小林総合政策課長補佐、宮下主幹、小林主事、萩原総務課長、佐藤子ども教育課長、宮沢社会教育課長
次 第	1 開 会 2 ワークショップ 第6回委員会のワークショップの流れについて 3 発表 4 委員長講評 5 事務連絡 6 閉 会

要旨

ワークショップ

- 事務局から資料1に沿って説明。

質疑なし

ワークショップ

- 3班に分かれワークショップを実施 -

発 表

- A班発表

委 員 整備の要否については、全員一致で必要となった。

整備する場合の方法は、新設であれば、複合施設として新設するのが良い。これは、アンケート結果からも、屋内遊び場のみを希望している人は少なく、新設する場合は複合施設として新設して欲しいとする要望があったためである。

改修の場合は、中途半端で「もう来なくてもいい」と思われるような施設にして欲しくない。新設、改修どちらとも聖籠町の特徴をいかに出せるか、他との差別化が必要であるといった意見にまとまった。

候補地は、バイパスから近くて分かりやすい場所が良く、駐車場のスペースが広く取れる所が良いとした理由から、聖籠地場物産館でまとまった。現在、聖籠地場物産館は建て替えの可能性があるという情報もあるため、そこに屋内遊び場を取り入れてもらうのが良いとした案が出た。他にも多目的屋内運動場や町民会館内が良いといった意見もあった。多目的屋内運動場は、平日も子どもだけで来られるため、そこも良いといった意見もあったが、駐車場や町外から来る方のことを考えると、場所が分かりにくいことや、駐車場が狭いといった懸念材料が多いといった話が出た。

規模や内容については、赤ちゃんと幼児と小学生のスペースは分けることは絶対必要である。また特色として、年配の方と子どもたちが遊びを通して交流できる場所にしたい、というような意見もあった。以前小学校に年配の方が来られ低学年向けにけん玉やコマ回し、紙鉄砲などの昔遊びを教える授業があったが、将棋や囲碁、短歌や俳句といった体験を、年配の方と子どもたちとの交流として取り入れることも良いと考える。

私個人としては、習字や陶芸教室、パステルやフラワーアレンジメント、体操など多くの可能性がこういった施設整備に秘められていると考える。

また、小学生には学習空間も必要である。宿題は時間の無い中でこなすことは親も子も苦労しているところが多いため、宿題のサポートやプログラミング、英会話の体験などができると本当に良い施設になると考える。あとは体を思い切り動かせる場所として、ボール遊びができる施設は少ないため、思い切りボールを投げたり、蹴ったりできる場所があったらいいと思う。これには遊びを指導するプレイリーダーの存在が必須である。私たちは施設だけを作れば良いという考えではなくて、人と人との交流や体験を重要視した施設になることを願っている。

その他、アンケートの「日中は未就学児や小学生がこの施設を使わないため無駄ではないか」等といった意見を踏まえ、平日の日中のこの施設の使い方を考えてみた。

聖籠町は児童発達支援事業所や放課後デイサービスの施設が無い。近年、発達障がいの子どもの数は増えている。その子達に早期療育、早期支援をしていけるように、午前中は児童発達支援事業所として活用できると考える。新発田市では事業所が朝幼児をお迎えに行き、そこで午前中は療育を受けて午後から通常の園へ登園するようなサービスを実施して

いる所もある。聖籠町もそのような取組みをすることで、日中は活用できるのではないかと考えている。また、岸田政権が2026年度から全国実施を見据え、今年の6月から試行実施した「こども誰でも通園制度」について、聖籠町も検討してはどうかといった意見や、日中の一時預かりや、ファミリーサポートの運用のための事業所としてこの施設が活用できたら良いといった意見もあった。

最後に、複合施設としてレンタルスペースを提供することで、若い子達でお金があったら挑戦してみたいというような、メイクやネイル、リンパケア体験、手作りのお菓子やパン、ハンドメイドの販売などフリーマーケットのイベント的なものができるスペースがあると、特色が出せるのではないかと考える。

○ B班発表

委員 整備の可否は「整備する」となった。

整備する場合の方法は、新設と改修で意見が分かれたが、新設の意見が多かった。

候補地は、町特産の観光ぶどう、さくらんぼ園や弁天瀧風致公園、プラント4の近くとして、ついでに立ち寄りやすく、アクセスの良い場所が候補地として意見が多かった。また小学校区としては、町の真ん中の山倉地区。また、図書館の近くや役場の裏、町民会館付近も候補地として意見が上がった。

規模や内容は、対象年齢はゼロから小学4年生がメイン。利用料金については様々な意見が出たが、最終的には整備費用を考慮し「有料」とすることで意見がまとまり、年間パスポート制の導入についても意見が出た。

また、付き添いの大人も楽しめるようにカフェや足湯、室内プールや今流行りのグランピング、バーベキュー設備や飲食スペースの設備、ママカフェの導入といった意見もあがった。なお、温暖化対策として全館冷暖房は必須である。

施設内のエリア分けは必須であり、成長段階に応じて乳児幼児、小学生という風に分けることで安全性が確保され则认为している。保育士の常駐や、子どものお昼寝スペースや親の見守りスペースの確保という意見もあがった。遊具の整備だけではなく、音楽や図書、学習スペースといった意見もあがった。

あとは、新潟市「きらら西公園」にあるようなゴーカートやサーキットを取り入れていきたいとした意見もあった。

最近の子どもは砂遊びや泥遊びをする機会も減ってるので、そういった遊ぶ場所であったりアスレチックだったり、子どもだけじゃなくて、障がいのある方も楽しめる遊具という意見も出た。

その他には、子ども食堂や、季節感のある玄関装飾も話題となった。

これらの、施設を整備するためには既存施設の改修では難しいため、新設した方が良く、施設規模としては、山形県の「コパル」くらいの大きさといった意見もあった。

もしも改修する場合は、これらの施設環境を全部整えるには多目的屋内運動場でも足りないと考えられることや、利用率の高い既存施設を改修する場合の現在利用者への対応が課題である。

最後に、新設又は改修どちらにしても、現在町屋内遊び場の「そだちの家」とのすみ分けも必要と考える。

○ C班発表

委員 施設の要否は、アンケート結果や昨今の気候を考慮し、良い環境で子ども達が遊べる方が良いと考えるため、「整備をする」となった。

整備方法は、当初町の財政状況を考慮し既存施設の改修案とする声が多かった。しかし、例えば多目的屋内運動場の改修を想定した場合、利用率が高いことや、老朽化に伴う修繕費も嵩んでいることを考慮すると、新設が良いとした意見となった。

新設の候補地としては、新潟県立聖籠緑地やプラント4周辺、弁天湯風致公園のビオトープや屋外ステージ、役場前テニスコートといった意見があがった。

規模や内容は、新潟市にある「い〜てらす」の内容を全て兼ね備えた施設にすることでまとまった。理由は、年齢区分に応じたエリア分けがなされ、大きな遊具もあり、子どもだけではなく高齢者も散歩に訪れられるような施設が良く、様々な方が利用できる施設整備を望むためである。

利用料金については、町の財政状況としては有料とする声もあったが、様々な人が利用しやすいように、無料がよいとまとまった。

以上のことから、「い〜てらす」同様の施設を整備するべきという意見となった。

○ 委員長講評

委員長 皆さんは町役場の会議や委員会に招かれ、事務局案についてどうすべきか発言する、いわゆる一般的な会議等とは違い、今回のワークショップは委員の皆さまがアイディアを出し、皆さまがもしも町長だったらどうするか、という視点でいろいろご検討いただいた。そういったことからこの度の検討や発表は非常に深く重みのあるご提言だと考える。これらの意見を最終的に意見書という形に取りまとめて、町長へ提出することになるが、各班の内容は非常に多岐にわたっていた。整備方法では、新設とする

意見が多かったとはいえ、やはり既存施設の改修も意見としてあった。これから事務局と一緒に意見書をまとめたいと考えているが、仮に全て意見通りにならなかったとしても、その意見となった背景や考え方があるため、それを踏まえた意見書にしたいと考える。例えばAという意見に対してBという意見もあったとする両論併記する方法もあるが、仮にAの意見とした場合であってもBという意見が出た背景や考え方、理由があるため、それらも活かしてAに反映させる方法も検討していきたい。8月下旬に次回委員会を考えている。

○ 事務連絡

課 長 次回の日程は8月26日又は8月27日で考えているが、事務局としては、できるだけ多くの皆さんに参加頂きたいと考えているため、現段階で都合の悪い日がある場合は、ぜひお聞かせいただきたい。

委 員 27日であればありがたい。

委員長 それでは27日の夜を候補日としたい。

課 長 8月27日火曜日の夜の予定で準備を進めていきたいが、何かありましたら総合政策課へご連絡願いたい。

○閉会

課 長 これから委員長と事務局で皆さまの意見を取りまとめていきたいと考えている。それをもって、次回委員会で皆さんの方からご意見をいただきいたため、出席についてよろしくお願いしたい。

委員長 今後の段取りとしては、8月27日に意見集約をして、そしてラスト第8回が9月か10月頃に意見書案の検討ということになると思うため、あと2回お付き合いの程よろしくお願いしたい。

課 長 それでは本日の委員会をこれにて終了とする。

以上